



毎年「ボランティアの日」として、千種で清掃活動を実施。今年は6月2日(土)に行います

# 突栗の地域福祉を支える 善意銀行

6月1日は  
『善意の日』

昭和39年、「県民だれもが、この日何かひとついいことをしよう」という呼びかけを兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が行い、『善意の日』を制定しました。突栗市社協でもこの善意の日にちなみ、様々な活動を行います。

今月号では、6月1日を前に、善意の日の取り組みと善意銀行について考えます。

## 善意の日の取り組み

毎年6月1日、突栗市社協では、善意の日(善意推進月間)の理解や協力を呼びかける啓発活動に取り組んでいます。その内容は、社協広報車やしいたん通信などによる呼びかけや千種幼稚園児によるパレード、街頭(大型店舗前)でのチラシや風船等の配布などです。

また、ボランティアセンターの取り組みとして、毎年6月をボランティア月間とし、福祉施設や幹線道路での清掃美化活動などを行う「ボランティアの日」を設け、広く参加を呼びかけています。

※今年の『ボランティアの日』については、フページの「輪っしよい!ボランティア」で紹介しています。

## 県内で預託高トップの 突栗市善意銀行

突栗市善意銀行では、供養やお見舞い返し、また長寿のお祝いなど、お世話になった地域の方々へのお礼の気持ちを込めた善意の預託金をお預かりしてい

## 平成23年度善意銀行(一般預託)の預託内訳

預託内容	件数	割合
供養(香典返し)として	184件	52.6%
快気祝い、見舞い返しとして	52件	14.8%
福祉用具貸出のお礼として	33件	9.4%
祝い返しとして	2件	0.6%
地域福祉のために	77件	22.0%
その他	2件	0.6%
合計	350件	100%

ます。

平成23年度の預託額は、前年度に比べ、約110万円増え、1千7百2万557円をお寄せいただきました。

年間の預託高は、兵庫県内でトップです。

その用途については、「地域や困っている人のために役立ててもらいたい」というみなさまのあたたかい気持ちを活かすとともに、社協の地域福祉推進計画にそって、地域福祉の充実につながるよう、社協理事会で十分に協議し、活用しています。